



小栗キャップの News Letter

2013年7月31日(水)

税理士法人オグリ 代表社員 小栗 悟

〒500-8847 岐阜県岐阜市金宝町 1-3 岐阜第一生命ビル 4F

TEL : 058-264-8858 FAX : 058-264-8708

Email: info@otc-oguri.com <http://www.otc-oguri.com>

精神疾患と上司の対応

2012年度労災の傾向

最近厚労省から発表された労災申請に関する調査結果によると 2012 年度に労災認定された人は前年度から 150 人増え、475 人となり、3 年連続過去最多を更新しました。原因は過労や職場のいじめでうつ病等の精神疾患が増え、仕事の内容や職場の人間関係が影響した事例が目立っています。

発症原因別の労災認定者数

背景には医療機関でうつ病と診断される人が増えている事に加えて、厚労省が具体例等で労災認定新基準を公表し、基準が分かりやすくなり、精神疾患でも労災申請が出来ると言う意識も浸透してきました。労災を申請した人は 1257 人、4 年連続で 1 千人を超える水準となっています。労災認定された人のうち原因別では「仕事内容・仕事量」が最も多く 59 人、「嫌がらせ・いじめ・暴行」が 55 人、「悲惨な事故や災害の体験や目撃」51 人となっています。1 ヶ月に 80 時間を超える時間外労働も原因としては続いています。増加傾向にあるのは「嫌がらせ・いじめ・暴行」で上司とのトラブルやセクハラを挙げる人が増え、職場の人間関係の難しさを感じさせます。

部下のストレスがたまっている時

部下の様子が以前と比べてなにかおかし

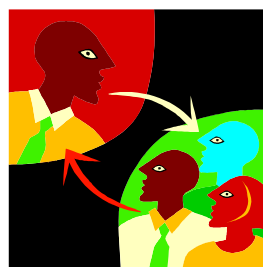
いと感じ、顔の生気の無さ、口数の少なさ、返事が遅い、週明けの欠勤が多い、ミスが目立つ、人の話を聞いていない、集中力の低下等が 2 週間以上続いている時には心の病の可能性がります。

上司が立派でスーパーマンやナルシストタイプの場合は部下のストレス度が最も高いと言われます。完璧な上司ほど部下の病気を作ってしまう傾向があるようです。

今、上司は本当に大変

精神疾患系の部下が職場に生まれないようにするには上司としてこれから身につけておきたい事はメンタルヘルス面での知識です。部下から心の問題を相談された時にはすぐに解決を目指さず、聞くだけに留め、励ましはせず、共感や労いのある言葉でストレスを和らげる事が出来れば良いですね。もし、理不尽な要望等を言ってきた時にもその要求の背景を理解するだけに留めておく姿勢が大事でしょう。

上司こそ部下が心の健康を崩した時に自分自身が精神的、肉体的負担に押しつぶされないよう心の健康管理が重要なのです。



大切なのは「聴く」と「伝える」。
「なぜ」を連発すると
とがめられているように
感じるそうです